資料6

「社会保障費の抑制をめざす」共同研究プロジェクト

1 概要

本市と名古屋大学大学院医学系研究科は、同研究科に設置する健康医療ライフデザイン統合研究教育センター（iC-REX）において、新たに社会保障費の抑制をめざす共同研究プロジェクトを実施します。

市民の健診・医療・介護のデータを活用し、GFR値など慢性腎疾患（CKD）に関するデータからハイリスク者を抽出し、高齢者を取り巻く生活環境上の課題や特異性を解析するとともに、重症化（医療）及び重度化（介護）の要因を特定します。

さらに、その要因に介入する運動の推進や食事の改善などのプログラムを実施し、本市の社会保障費（医療費及び介護サービス給付費等）の抑制、市民の健康寿命の延伸等に寄与する先駆的な取り組みを進めていきます。

（参考）C-REX 実施状況

北名古屋市、豊明市、津島市、美浜町など

2 スケジュール

契約書の締結
オプトアウトの実施

令和6年７月～9月

契約を締結し、市民に対しオプトアウトを実施し、市民の健診や医療、介護のデータが活用できる体制を整える。
※オプトアウトとは、自らに関する情報を利用される際に許諾しない意思を示すこと。

覚書の締結
共同プロジェクト開始

令和6年 10 月から

市民の健診や医療、介護のデータを分析し、生活環境上の課題や特異性を解析するとともに、重症化（医療）及び重度化（介護）の要因を特定します。

本事業実施

令和7年4月から

慢性腎疾患（CKD）患者の地域性など、分析データに基づき、要因に介入する運動の推進や食事の改善などのプログラムを実施します。

3 見込まれる事業の成果

⑴ 予防医療（２次予防）
本市の慢性腎疾患（CKD）患者の透析導入者数を減らすことで、現在の社会保障費（医療費）を抑制します。

⑵ 予防医療（１次予防）
CKDへの移行を減らすことで、健康寿命を延伸し、未来の社会保障費（医療費）を抑制します。

⑶ 重度化防止（介護）
増加する高齢者人口に対する要介護認定者数を減らすとともに、要支援者の重度化を防ぎます。